

健康観察シート

年 組	番 氏名	平熱	℃
-----	------	----	---

- ◇ 感染症対策のために、毎日の健康観察が大切です。春休み中も毎朝晩体温を測り、体調などを日々確認して下記の表に記入し、始業式当日に担任へ提出してください。
- ◇ 発熱等の風邪症状がある場合は、「人にうつさない」ために、自宅で休養してください。
- ◇ マスクの種類（ア：「不織布」、イ：「不織布以外」）を下記の表に、「ア」、「イ」で記入してください。
- ◇ 同居している家族等に風邪症状がある場合、下記の表に「有」、「無」を記入してください。
- ◇ 次の感染が疑われる事例が報告されている場所等に行った場合は、下記の表に「○」を記入してください。

※ 一人の感染者が複数人に感染させた事例が報告されている場所等の例
カラオケ店、ライブハウス、スキーのゲストハウス、大人数や長時間に及ぶ飲食の場面など

【注意事項】

※ 下記の表の期間に、次の①に該当し、なおかつ②または③のどちらかにも該当した場合は、学校へ連絡してください。

- ①発熱（37.5℃以上）や風邪症状のあった日がある
②同居者に風邪症状がある
③感染リスクの高い場所等に行った日がある

※ 心配な症状がある場合は、「重症化を防ぐ」ために、裏面の相談・受診の目安を参考に「受診・相談センター」や、かかりつけの医療機関に相談してください。

[illegible]

新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安

☆ 少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐに「受診・相談センター」や、かかりつけの医療機関に相談してください。

□ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

□ 重症化しやすい方（※）で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪の症状がある

※糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

□ 上記以外で発熱やせきなど比較的軽い風邪の症状が続く場合

※症状が4日以上続く場合は必ず相談してください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。
解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。

発熱があり、医療機関を受診される時は、事前に電話相談を！

①かかりつけ医がいる方は**かかりつけ医にお電話を！**

②かかりつけ医がいない方は次の**受診・相談センターにお電話を！**



北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター
0800-222-0018 (24時間・フリーコール)

<札幌市、旭川市、函館市、小樽市にお住まいの方>

- 札幌市：救急安心センターさっぽろ
#7119または011-272-7119 (24時間)
- 旭川市健康相談窓口
0166-25-1201 (24時間)
- 函館市受診・相談センター
0120-568-019 (24時間・フリーコール)
- 小樽市発熱者相談センター
0570-080185 (24時間)